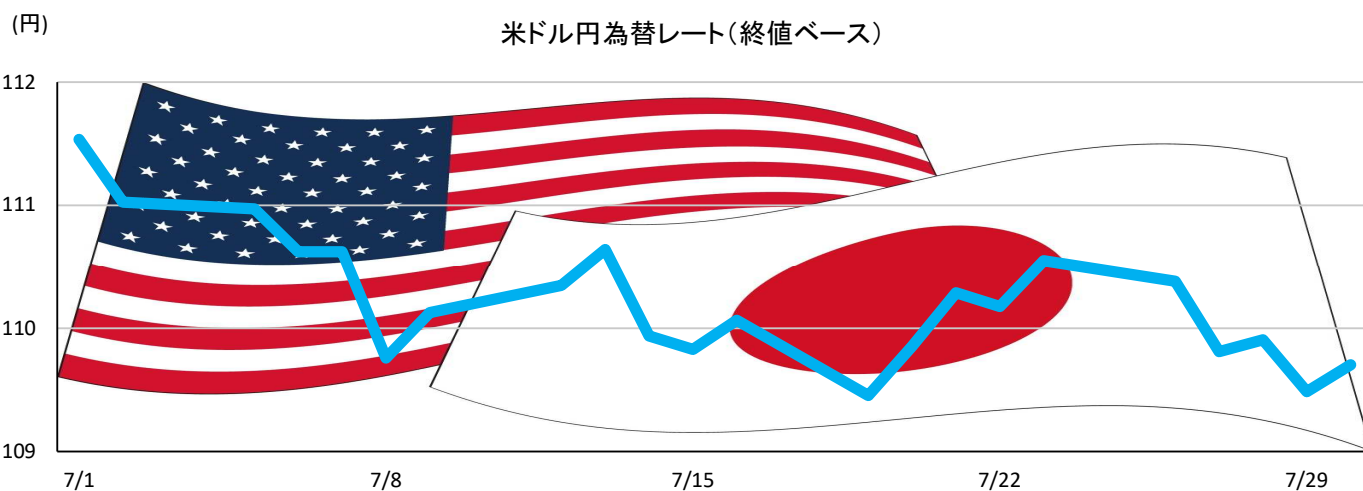


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**7月のドル円相場は111円半ば～109円前半で推移。6月末から続くドル高の流れだったが、発表された米雇用統計は市場が期待したほどの数値ではなかったことで、109円台半ばまで円高ドル安が進行。月中には良好な経済指標発表を受けてドルは買い戻されたものの、パウエルFRB議長が議会証言で量的緩和縮小開始を急がない姿勢を強調したことや新型コロナ変異株の感染拡大を受けて株式市場が急落したことで再びドル売りに。その後は株式市場の反騰を受けて110円台を回復する場面も見られたが、FOMCにおいて早期利上げに慎重な姿勢が示されたことから上値は抑えられた。



## EXTRA VISION

**今後の展開：**世界各国でコロナワクチン接種率が上昇し、それに伴う経済活動の広がりが景気回復の足がかりとなってきたことは好材料と言えるが、新型コロナ変異株感染者が増えていることは気がかりだ。特に南米を中心に広がっているラムダ変異株について情報が不足し、さらにデルタ変異株とラムダ変異株が同時に広がっている国はまだ無いため、相対的な感染力やワクチン効果への影響など、不透明な部分も多く警戒しておかなければならない。経済指標を背景としたドル買いと新型コロナ感染拡大リスクによるドル売りの攻防がしばらく続いていきそうだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
8 / 17 (火)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
8 / 24 (火)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
8 / 26 (木)	21 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
8 / 27 (金)	21 : 30	US	個人消費支出	☆☆☆☆
9 / 3 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
9 / 9 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
9 / 14 (火)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。